様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日　2024 年 1 月 17 日

１．職名・氏名　　教授・川村みどり

２．学位　　学位　博士、専門分野　保健学、授与機関　金沢大学大学院、授与年　2018

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 2 年　精神看護学概論（1 単位、前期）　精神看護学（2 単位、後期） 3 年　精神看護学演習（2 単位、前期）　精神看護学実習（2 単位、後期） 4 年　精神看護発展セミナー（1 単位、前期）　看護教育学（1 単位、後期）＜履修生なし＞ 大学院　看護教育論（2 単位、1 年後期）＜履修生なし＞ 精神看護学特論（2 単位、1 年後期）＜履修生なし＞　精神看護学演習（4 単位、1 年前期）＜履修生なし＞、精神看護学特別研究（10 単位、2 年通年）＜履修生なし＞ 健康生活科学特論（2 単位、1 年次）
②内容・ねらい 学部の専門領域の授業では、シラバスに掲載している目的や目標から精神看護学の理念を学生に伝えつつ、専門知識の積み上げを行った。実習に取り組む自身をイメージできるように、先輩たちがどのように座学での知識を生かして、対象理解を深めていたのか具体的に例示した。大学院では少人数ゼミであることから、院生による自由な発言を保証する雰囲気で、授業を行った。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学部 2 年生対象の精神看護学概論、精神看護学は、専門領域の学習の導入科目として、身近な話題から徐々に障害をもつ人への支援について、具体的な事例で興味をもつように試みた。知識に関しては、実習で専門職者と話す際に背景知識として用語の理解の必要性を伝えた。授業後の学生からのミニッツペーパーに疑問があれば、新たに資料を追加して教授し、学生の興味関心に呼応するようにした。３年次の演習および実習は、看護過程の展開を座学で一通り考えることで実習へとつなげるようにした。実習では、医療的な問題と患者本人の強みとのバランスに着目し、地域での生活を志向する看護過程を展開するように支援した。

(2)その他の教育活動
内容

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 【0 本】
②学術論文（査読あり） 【0 本】
③その他論文（査読なし） 【0 本】
④学会発表等 1. 統合失調症をもつ人の既婚のきょうだいが同胞との付き合い方を見出すプロセス.川口めぐみ、片山美穂、川村みどり、森岡広美、中本明世、第 43 回看護科学学会学術集会、下関（2023/12/9 - 10） 【1 件】
⑤その他の公表実績 【0 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】　科研、若手研究、2020-2022 年度（2024 年度再々延長予定） テーマ：地域で生活する統合失調症をもつ人が「薬を飲まない」選択を考える時の主観的体験

(3)特許等取得

(4)学会活動等
看護実践学会　査読委員（2016 年 7 月から現在に至る）

５．地域・社会貢献活動

1. 福井県看護協会　看護基礎教育検討委員会　委員（2021 年 9 月～現在に至る）

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
教職課程（2021 年 9 月～現在に至る） カリキュラム検討委員会（2023 年 4 月～現在に至る）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など
認定看護師による事例検討会（石川） 精神障碍者のピアカウンセリング（石川） 　ただし、いずれも COVID-19 のため活動休止中